

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	29件	31,000円	89件	116,000円
財団	0件	0円	3件	39,000円
ベネファクター	0件	0円	0件	0円
米山	0件	0円	1件	10,000円

本日のプログラム

<委員会報告>

クラブ奉仕委員会

中島健児委員長



クラブ奉仕の考え方としては、ロータリーはまず例会に出席し、会員同士の親睦を深めることから始まります。そしてクラブの奉仕活動に参加することで達成感と充実感を共有することができます。出席、親睦、奉仕の循環が会員同士の信頼を深めクラブが活性化され会員増強へとつながるといふ考え方を基本に川崎百合丘RCらしいクラブ作りに貢献して参りたいと思っております。各小委員会の委員長紹介です。

- ◆坂井SAA委員長 3年目でまだわからない用語もある中で大変申し訳ないのですが1年間頑張りたいと思います。
- ◆鴨志田親睦委員長 親睦委員長3回目です。1年間よろしくお願ひ致します。
- ◆白井出席委員長 ロータリーは出席から始まります。体調に気をつけて出席できるように頑張らしましょう。
- ◆鈴木文夫雑誌委員長 「ロータリーの友」はとてもよい内容なので是非お読み下さい。
- ◆渡邊プログラム委員長 創立40周年という事もあり前半は委員会報告、後半はクラブフォーラム等を中心としたプログラムです。
- ◆鈴木清クラブ会報・ホームページ委員長 ロータリー文庫など活用し内外に向けてよい情報を提供できたらと思います。

青少年奉仕委員会

小塚委員長



青少年奉仕委員会は3つの内容に分かれます。まず一つ目はインターアクト、2つめがロータリーアクト・RYLA、3つめがロータリー青少年交換です。

インターアクトは12月17日にインターアクトの年次大会を桐光学園で行うということで現在準備中です。スポンサークラブである川崎百合丘RCにも応援を頂きたいと思ひます。学園としても色々な施設をうまく使えるように計画しているところです。

ロータリーアクトは現在休止中ですが、RYLAは青

少年のリーダーを指導するプログラムを用意してくれるはずで、そこに今後川崎百合丘RCに参加してくれそうな方を送り込んで交流を持ってもらえたらと考えております。

ロータリー青少年交換ですが、迎え入れるホストファミリーには苦勞もあります。最近会員数が30人以下のRCも増えていますが、そのようなクラブが交換留学生を引き受けるのは大変ということで、交換留学生を出したクラブが責任を持ってホストファミリーを引き受けて欲しいというルールが今年から動き出しました。今年桐光学園から熊谷さらさんをタイへ送りますので、タイから1人男の子を受け入れられます。当クラブでホストファミリーを引き受けて下さるご家庭があれば是非申し出て下さいますようよろしくお願ひします。送り出しているご家庭に留学生を受け入れてもらうというのも一考かという案も出ております。

国際奉仕委員会

中島眞一委員長



国際奉仕の中心はロータリー財団、米山奨学のプログラムですが、これらを支えるのはロータリアンの寄付です。今年度は例年通り、ロータリー財団は1人当たり120ドル以上、ベネファクター1名以上、ポリオは1人当たり50ドル以上、米山は普通寄付5千円以上、特別寄付2万円以上を地区の寄付金目標額としております。

今年度は創立40周年記念式典が行われます。台湾永和ロータリークラブの皆さんが約30名お祝いに来会いたします。日程は来年5月25日が前夜祭、5月26日が式典で40周年実行委員会の台湾委員会を中心に、当委員会もお手伝いをして準備を進めていきます。

当クラブの大きな国際奉仕の事業として大きなものは2つあると思ひます。1つは創立当初ベトナムから来られたランさんの援助、これは社会奉仕事業と絡むかもしれませんが、当クラブ独自で他のクラブの援助なしに何年かに渡って支援したということ、目的に向かって1つになったということで非常に素晴らしいプロジェクトであったと思ひます。ランさんは現在日本で医師として活躍されています。2つめはラオスプロジェクトです。国際奉仕のプロジェクトというのは距離的なハンデがありますし分野も広く難しいところがあります。ラオスのプロジェクトは終了しましたが来年の40周年に絡めてラオスのプロジェクトに対して何か支援できたらと思ひます。40周年実行委員会の中で考えていきたいと思ひます。

<点鐘>

中村会長